第３編　近世の日本と世界　第２章　歴史資料と近世の展望

**１　参勤交代と幕藩体制**（教科書p.134-135）解答例

１．「参勤交代」とはどのような行為か，中学校で学習した内容を思い出して簡潔に説明してみよう。

|  |
| --- |
|  |

２．資料１・２を読んでわかることは何か，以下の抜粋したところを参考にグループで話し合ってみよう。

資料１「従者の員数近来甚だ多し」

資料２「諸大名参勤の節，召し連れ候人数の事，元和元年之御定もこれ有り候」

|  |
| --- |
| 参勤交代はいつから？→　  |

資料１「従者の員数近来甚だ多し…その相応を以て，これを減少すべし」

資料２「召し連れ候江戸詰の人数次第に相増し…自今以後，参勤の節召し連れ候人数分限に応じ，其の心得これ有るべく候」

|  |
| --- |
| 幕府は大名に対して何を命じている？→　  |

資料１「且つは国郡の費，且つは人民の労なり」

資料２「主人ならびに諸家中の者不勝手に罷り成り候」「且又諸国居城・居所等，留守の人数も減じ候事」

|  |
| --- |
| なぜそう命じたの？→　 |

３．参勤交代によって江戸の町はどのような特徴をもつ都市になったのか，資料3〜6で読み取れることを，グループで話し合ってみよう。

|  |
| --- |
|  |

４．資料7を読んで，参勤交代について気がついたことを，グループで話し合ってみよう。

|  |
| --- |
|  |

５．これまで見た資料を総合して参勤交代について分析し，幕府の支配のしくみの特徴についてまとめてみよう。

|  |
| --- |
|  |

６．前単元で自分が立てた「時代を通観する問い」をもう一度書き出してみよう。

|  |
| --- |
|  |

７．６で記入した「時代を通観する問い」とこの単元で学んだことを踏まえ，近世に関する仮説を立ててみよう。

|  |
| --- |
|  |